様式８

令和６年度（2024）　共同利用研究・研究成果報告書

研究課題名　和文：宇宙素粒子若手の会 第９回 秋の研究会
英文：The 9th YMAP symposium

研究代表者　　鷲見貴生(国立天文台)

参加研究者(レジストレーション順)　　髙野真綸(横浜国立大学)、神長香乃(東京大学)、髙橋光成(名古屋大学)、髙山太志(信州大学)、緒續航太郎(東京大学)、坂本琉之助(大阪電気通信大学)、笠井勇次郎(千葉大学)、辻智紀(千葉大学)、松澤碧(信州大学)、中山侑哉(大阪電気通信大学)、宮里優生(千葉大学)、中山翼(信州大学)、杉本布達(東京大学)、今和泉銀河(東京大学)、鈴木啓司(神戸大学)、谷口紘大(神戸大学)、楠森優貴(大阪電気通信大学)、生井凌太(神戸大学)、九島信(名古屋大学)、河内祐輔(大阪公立大学)、竹浪優貴(富山大学)、吉岡悠詩(名古屋大学)、岩崎祥行(富山大学)、森井保次(千葉大学)、溝手雅也(甲南大学)、大澤周平(富山大学)、三木信太郎(東京大学)、川島輝能(東京大学)、丸山和純(高エネ研)、細川佳志(東北大学)、吉田将(東京大学)

研究成果概要

本研究集会は、2016 年 3 月に発足した宇宙素粒子若手の会(Youth Meeting for AstroParticle:YMAP)が運営を担い、2024 年 11 月 7 日から 9 日にかけて、東大宇宙線研神岡宇宙素粒子研究施設で開催された。本研究集会の目的は若手研究者と宇宙素粒子関連分野の多岐にわたる研究について議論し、交流を深めることである。なお本研究集会は、できる限り多くの参加者に旅費を支給するために名古屋大学宇宙地球環境研究所(ISEE)および宇宙線研究者会議(CRC)の支援も受けている。

本研究集会の内容は、参加者による口頭発表、招待講演、神岡坑内見学(SK, KamLAND, KAGRA)、エクスカーション(ひだ宇宙科学館カミオカラボ見学)、懇親会である。参加者は 32 名(うち招待講師 1 名)で、全員が口頭発表を行った。例年通り多岐にわたる分野の若手研究者が領域を分断して交流する良い機会となった。今回は 2022 年度に続いて 2 度目となる神岡開催である。前回は坑内見学が好評であった一方、スケジュールが非常に逼迫していたという反省点があった。今回はこれを踏まえ、3 日間開催・神岡町の旅館を貸し切った合宿形式・見学用バスのチャーターなどの改善により十分な議論・交流の時間を確保することができた。

研究会 web ページ
https://www.icrr.u-tokyo.ac.jp/YMAP/event/conf2024/program.html

整理番号　K02